

**「平成25年4月13日の淡路島付近の地震における緊急地震速報に関する緊急調査」（速報）**

**平成25年4月26日**

**気象庁**

## 1. 地震の概要と緊急地震速報の発表状況

平成 25 年 4 月 13 日 05 時 33 分、淡路島付近を震源とする M6.3、深さ 15km の地震が発生し、兵庫県の淡路市で震度 6 弱、南あわじ市で震度 5 強を観測したほか、近畿地方を中心に中部地方から九州地方にかけて、震度 5 弱～1 を観測しました。(図 1) この地震において気象庁は、地震検知から 7.5 秒後の 5 時 33 分 27.9 秒に、兵庫県、香川県、徳島県、大阪府、など 2 府 14 県に緊急地震速報を発表しました。(図 2)

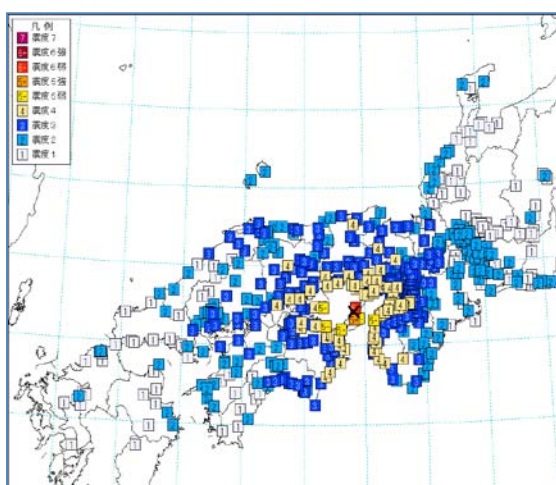


図 1 : 震度分布図

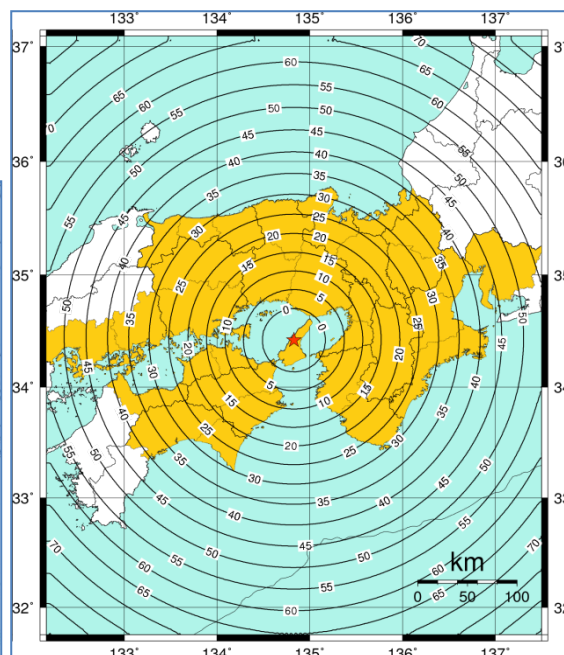


図 2 : 緊急地震速報の発表地域と、緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間 (秒)

## 2. 調査の概要

### (1) 調査目的

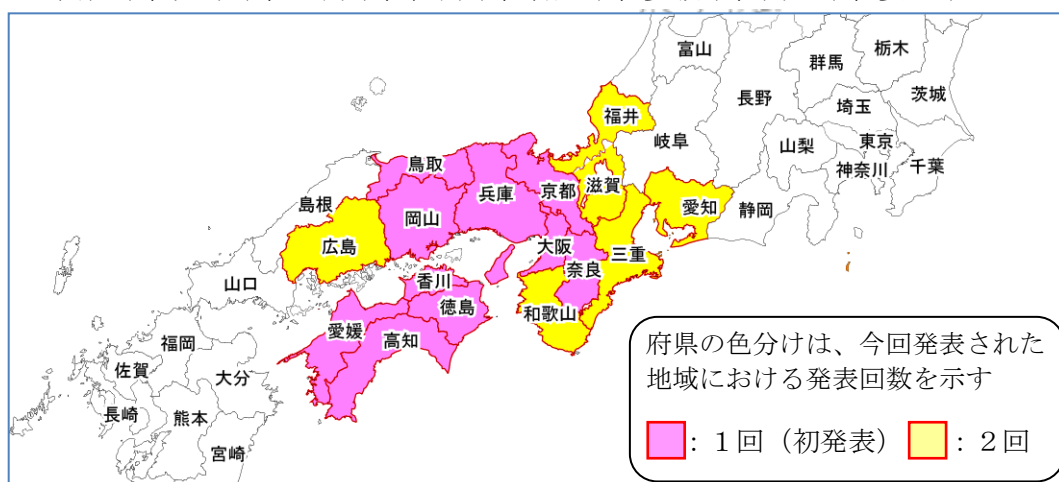
近畿・中国・四国地方の多くの地域では、今回の地震で初めて緊急地震速報が発表されました。気象庁では、今後の緊急地震速報等の普及・啓発活動に役立てることを目的として、緊急地震速報を発表した地域における認知の状況と対応行動を緊急に調査しました。

## (2) 調査対象

今回の地震において、緊急地震速報を発表した2府、14県に居住する20歳以上の男女。

<緊急地震速報を発表した府県>

大阪府、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、三重県、鳥取県、岡山県、兵庫県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、愛知県



## (3) 調査手法

インターネットリサーチパネルを対象とした、WEBによるクローズド調査（本調査の実施においては、中森広道 日本大学文理学部教授のご協力を頂きました）

## (4) サンプル数・割付

2,000 サンプル。

平成22年度国勢調査に基づく年齢、性別、居住地の分布割合に一致するように割付

## (5) 調査期間

平成25年4月19日（金）～23日（火）

### 3. 調査結果（速報）

#### （1）調査結果概要

今回は、単純集計の結果を速報としてとりまとめました。概要については以下の通りです。

○緊急地震速報を見たり聞いたりした経験が少ない地域での調査であったにもかかわらず、多くの方(81.5%)が緊急地震速報を認知されていました。

○緊急地震速報を受信した手段として、携帯電話（スマートフォンを含む）によって受信した人が一番多く（73.8%）なっています。

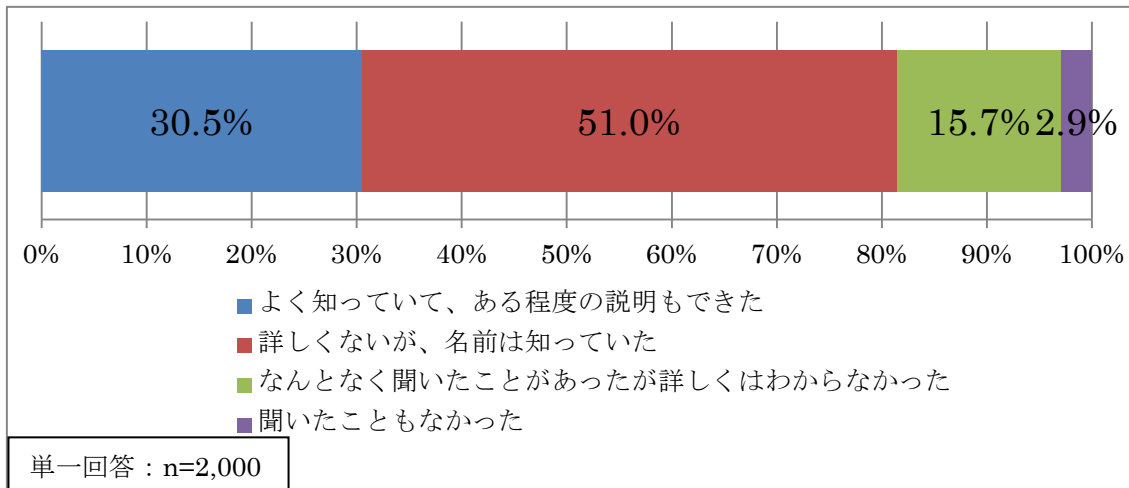
○緊急地震速報を受けたときにどう感じたかを聞いた(複数回答)ところ、「地震が来ると思った」人が多かった(45.8%)反面、「何かわからなかった」(29.7%)、「何をしてもいかわからなかった」(14.9%)という方も相当数おられました。また、緊急地震速報を受けたときの対応行動(複数回答)についても、「テレビやラジオで地震の情報を知ろうとした」(46.8%)、「様子を見た」(17.7%)など、適切な対応行動が取られていない状況が明らかになりました。

以上の結果により、緊急地震速報を受けたときや地震時の適切な対応行動についての普及・啓発活動の重要性が再確認されましたので、今後も普及・啓発活動を積極的に進め、地震による被害軽減につなげていきたいと考えています。また、今後、調査結果の詳しい分析・考察を行い、緊急地震速報の普及・啓発活動に役立てていきます。

## (2) 単純集計の概要

以下、各設問の概要について説明します。

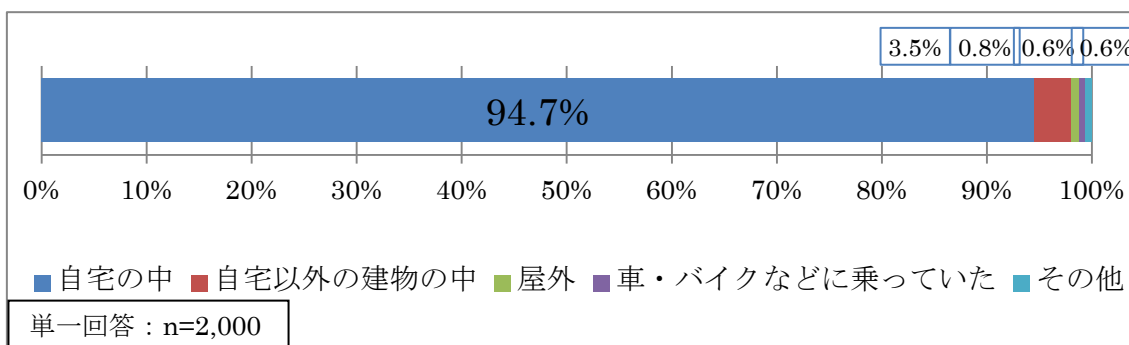
### Q 1 今回の地震の前に「緊急地震速報」を知っていたか



緊急地震速報の認知度について確認しました。

「知っていた」と認識していた人が、約8割となっています（よく知っていた30.5%、詳しくはないが名前は知っていた51.0%）。

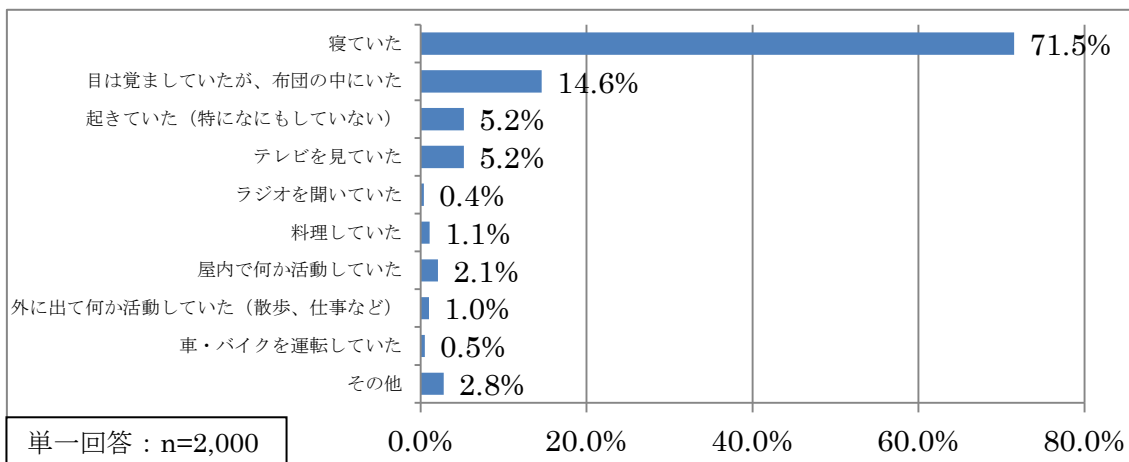
### Q 2 地震発生時（4月13日5時33分頃）にいた具体的な場所



地震発生時にいた場所を聞きました。

地震が発生した時間帯が早朝ということもあり、94.7%の人が「自宅の中」にいたと回答しています。

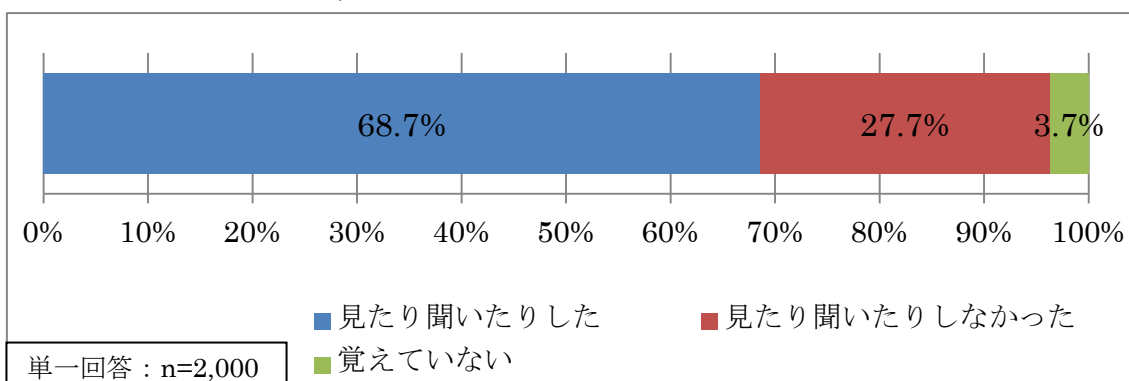
### Q 3 地震発生時に何をしていたか



地震発生時に何をしていたかを聞きました。

早朝ということもあり、「寝ていた」が71.5%、「目は覚ましていたが布団の中にいた」が14.6%となっています。多くの方が寝室にいたと思われます。

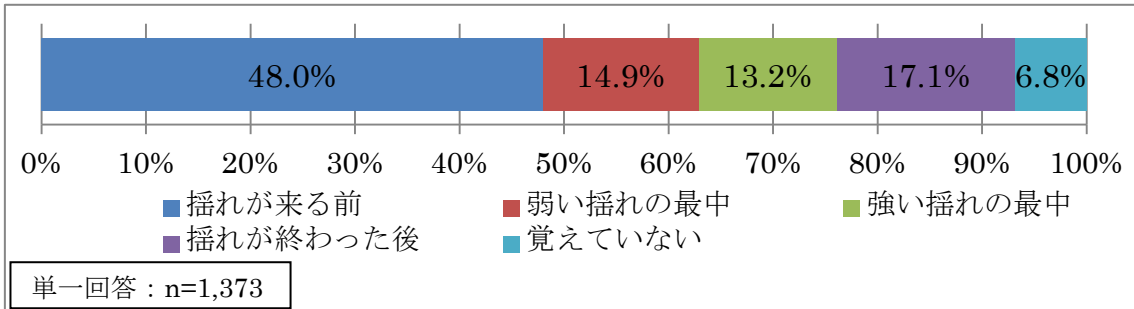
### Q 4 地震発生時の「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたか



今回の地震発生時に緊急地震速報を見たり聞いたりしたか、ということを知りました。

多くの方が寝ていたにもかかわらず、68.7%の人が、緊急地震速報を見たり聞いたりしています。

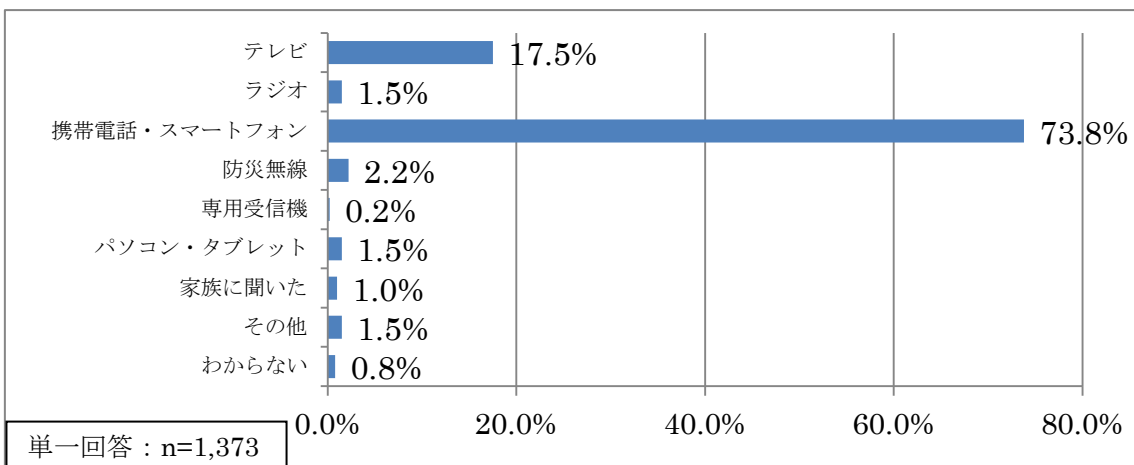
Q 5 今回の「緊急地震速報」にいつの段階で気がついたか



緊急地震速報を見たり聞いたりした人に緊急地震速報にいつ気づいたかを聞きました。（気づいたときに「緊急地震速報」とわからなくてもよいので、音や映像に気がついたタイミングを聞いています）

緊急地震速報に気づいた人のうち、「揺れが来る前」が48.0%、「弱い揺れの最中」が14.9%、「強い揺れの最中」が13.2%、「揺れが終わった後」が17.1%となっています。

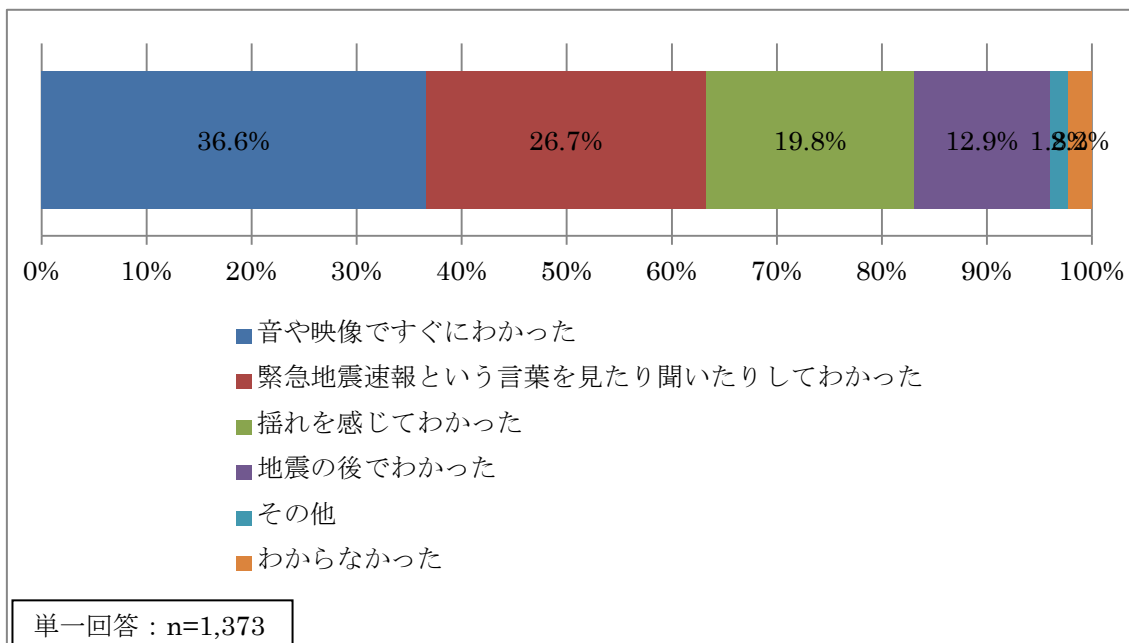
Q 6 今回の「緊急地震速報」を最初に何によって見たり聞いたりしたか



緊急地震速報を見たり聞いたりした人に、緊急地震速報を最初に何によって見たり聞いたりしたかを聞きました。（「緊急地震速報」とわからなくてもよいので、最初に見たり聞いたりしたタイミングを聞いています）

入手した手段は、「携帯電話・スマートフォン」が最も多く73.8%、続いて「テレビ」が17.5%となっています。

### Q7 今回の「緊急地震速報」をどの時点で「緊急地震速報」とわかったか

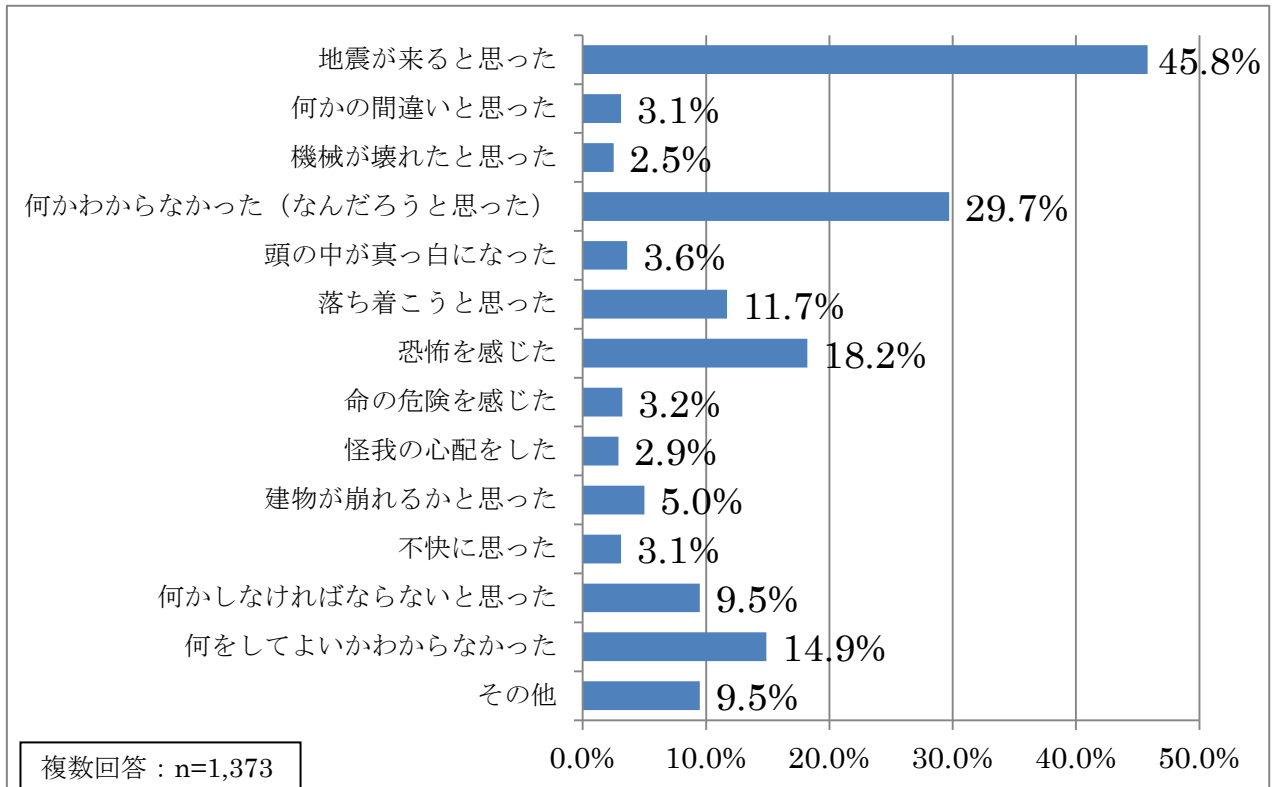


緊急地震速報を見たり聞いたりした人にどのタイミングで緊急地震速報だということが理解できたかを聞きました。

緊急地震速報だということが、「音や映像ですぐにわかった」は36.6%、「緊急地震速報という言葉を見たり聞いたりしてわかった」は26.7%、地震の「揺れを感じてわかった」が19.8%、「地震の後でわかった」は12.9%となっています。



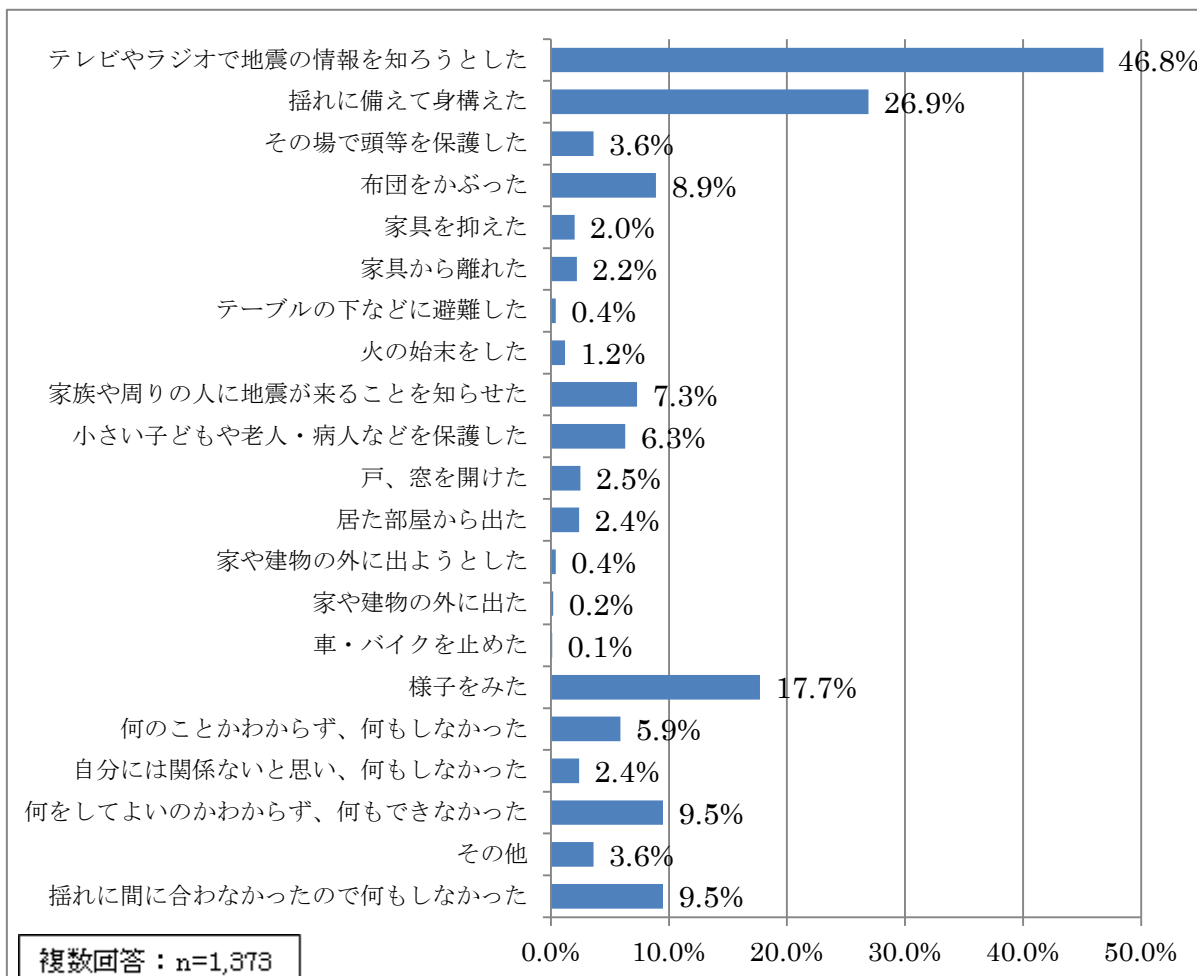
## Q 8 「緊急地震速報」に気づいた時どう感じたか



緊急地震速報を見たり聞いたりした人に緊急地震速報に気づいたときの気持ちについて聞きました。「緊急地震速報」とわからなくてもよいので、気がついたときの気持ちを聞いています)

緊急地震速報に気づいたときの気持ちは、「地震が来ると思った」が45.8%と最も多く、「何かわからなかった」29.7%、「恐怖を感じた」18.2%、「何をしてもよいかわからなかった」14.9%となっています。

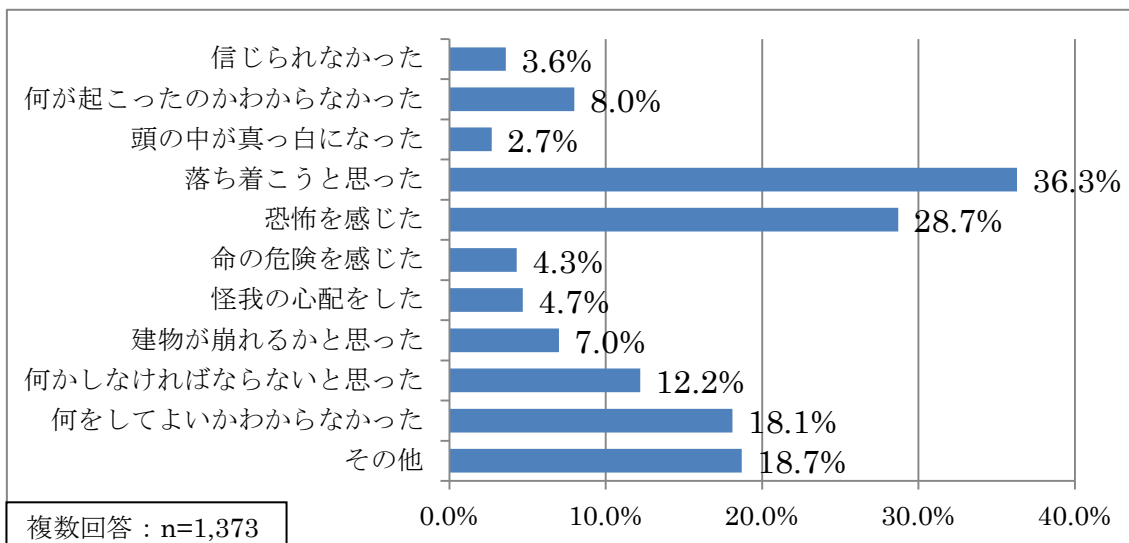
## Q 9 「緊急地震速報」に気づいてから何をしたか



緊急地震速報を見たり聞いたりした人に緊急地震速報を受けたときの行動について聞きました。（「緊急地震速報」とわからなくてもよいので、音や映像に気がついたときの行動を聞いています）

緊急地震速報を受けたときの行動としては、「テレビやラジオで地震の情報を知ろうとした」が46.8%と最も多く、「揺れに備えて身構えた」26.9%、「様子をみた」17.7%、「何をしてよいのかわからず、何もできなかった」9.5%となっています。

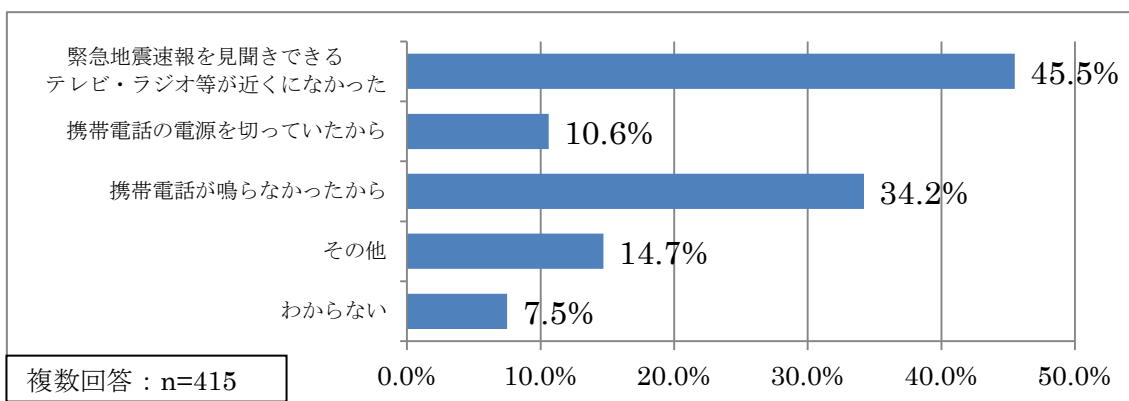
### Q10 地震で揺れている間、どのような気持ちだったか



緊急地震速報を見たり聞いたりした人に緊急地震速報を受けた後、地震で揺れている間の気持ちを聞きました。

地震の最中の気持ちとしては、「落ち着こうと思った」が36.3%と最も多く、「恐怖を感じた」28.7%、「何をしてもよいかわからなかった」18.1%と続いています。

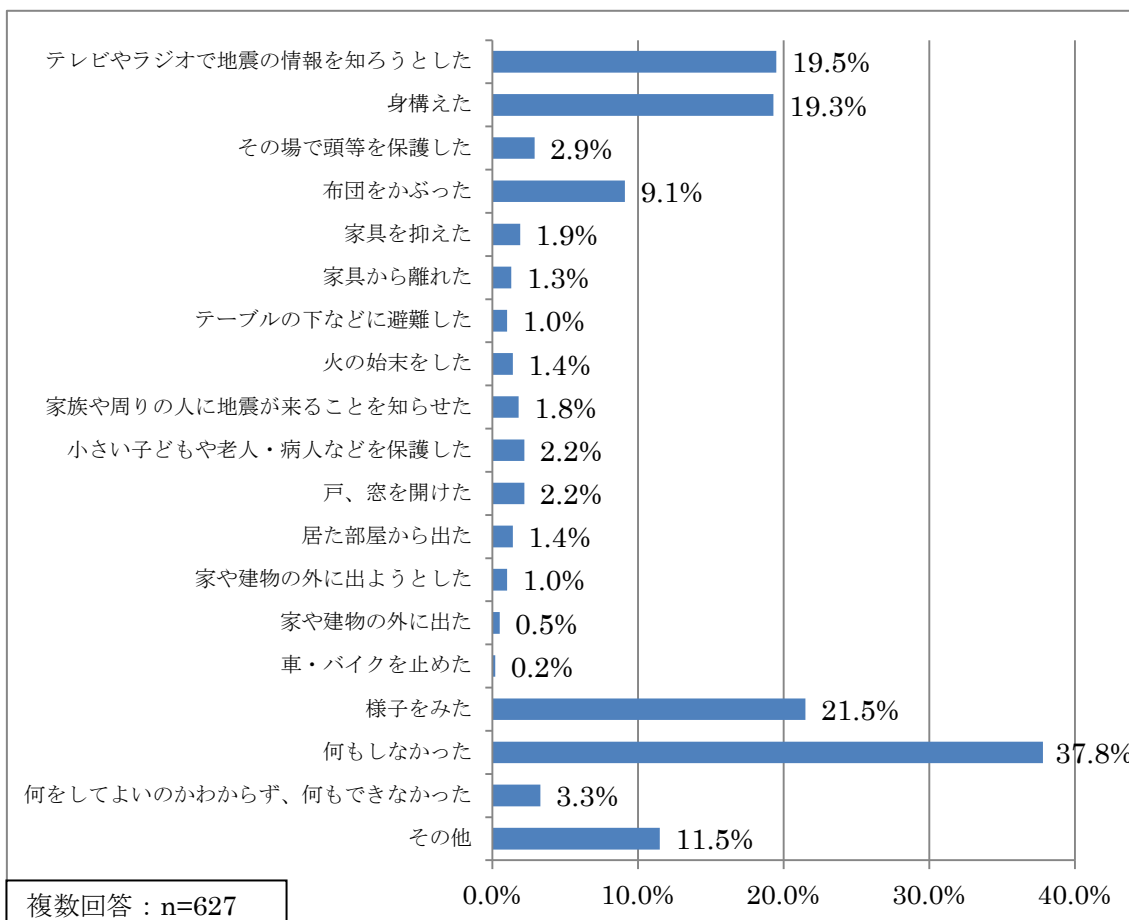
### Q11 「緊急地震速報」に気がつかなかった理由



緊急地震速報に気づかなかった人（Q4で見たり聞いたりしなかったと回答した人で、かつQ1で緊急地震速報をよく知っていた、詳しくないが名前は知っていたと回答した人）に緊急地震速報に気がつかなかった理由を聞きました。

気がつかなかった理由としては、「緊急地震速報を見聞きできるテレビ・ラジオ等が近くになかった」45.5%、「携帯電話が鳴らなかった」34.2%となっています。

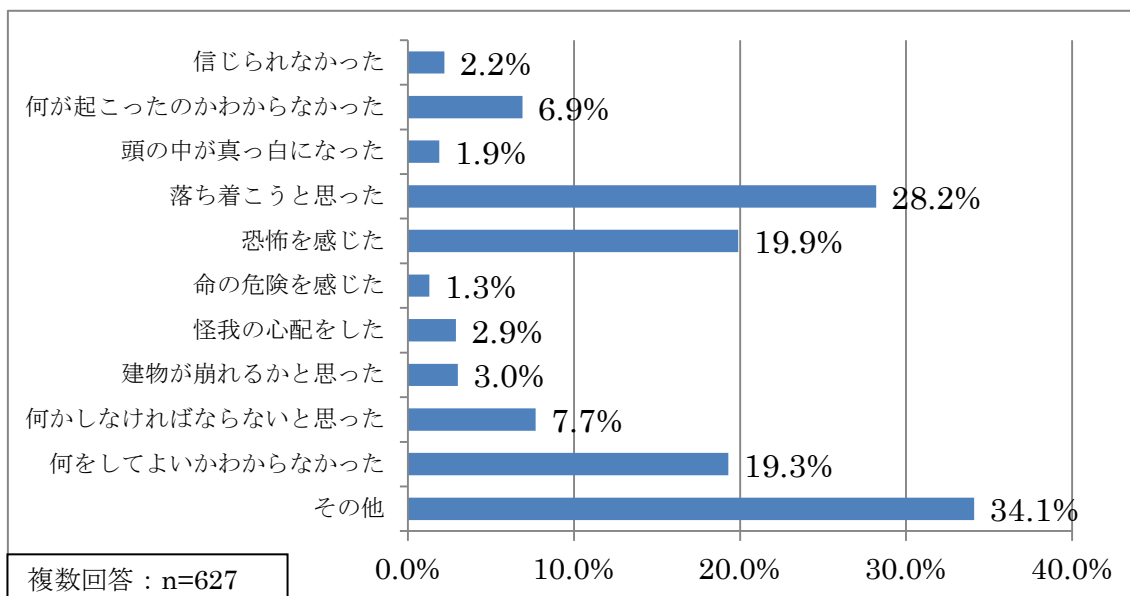
## Q 1 2 揺れが収まるまでの間何をしたか



緊急地震速報に気がつかなかった人（Q 4 で覚えていないと回答した人を含む）に、地震時の行動を聞きました。

揺れている間の行動は「何もしなかった」が 37.8%、「様子を見た」21.5%、「テレビやラジオで地震の情報を知ろうとした」19.5%、「身構えた」19.3%と続いています。

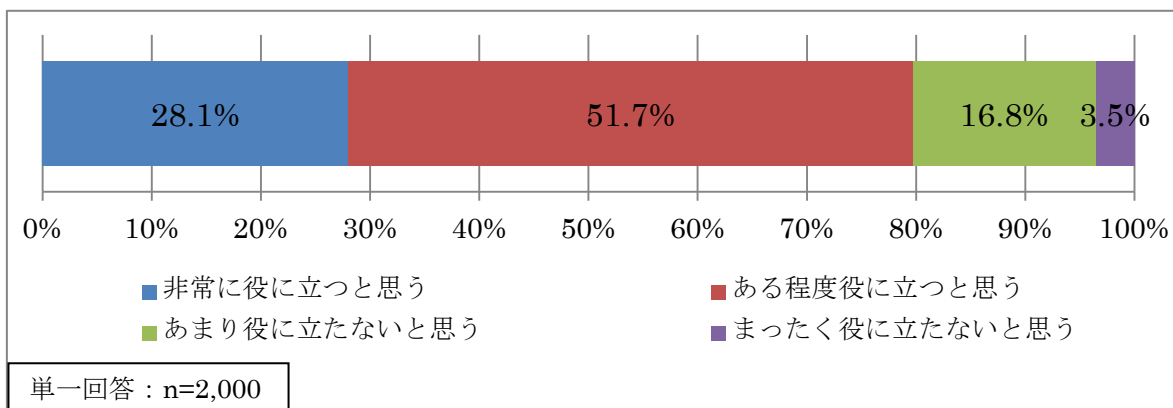
### Q 1 3 揺れが収まるまでの間どういう気持ちだったか



緊急地震速報に気がつかなかった人（Q 4 で覚えていないと回答した人を含む）について、地震で揺れている間の気持ちを聞きました。

地震時の気持ちとしては、「落ち着こうと思った」人が 28.2%、「恐怖を感じた」人が 19.9%、「何をしてもよいかわからなかった」人が 19.3%となっています。（今回の速報では「その他」（自由回答）に踏み込んでいません）

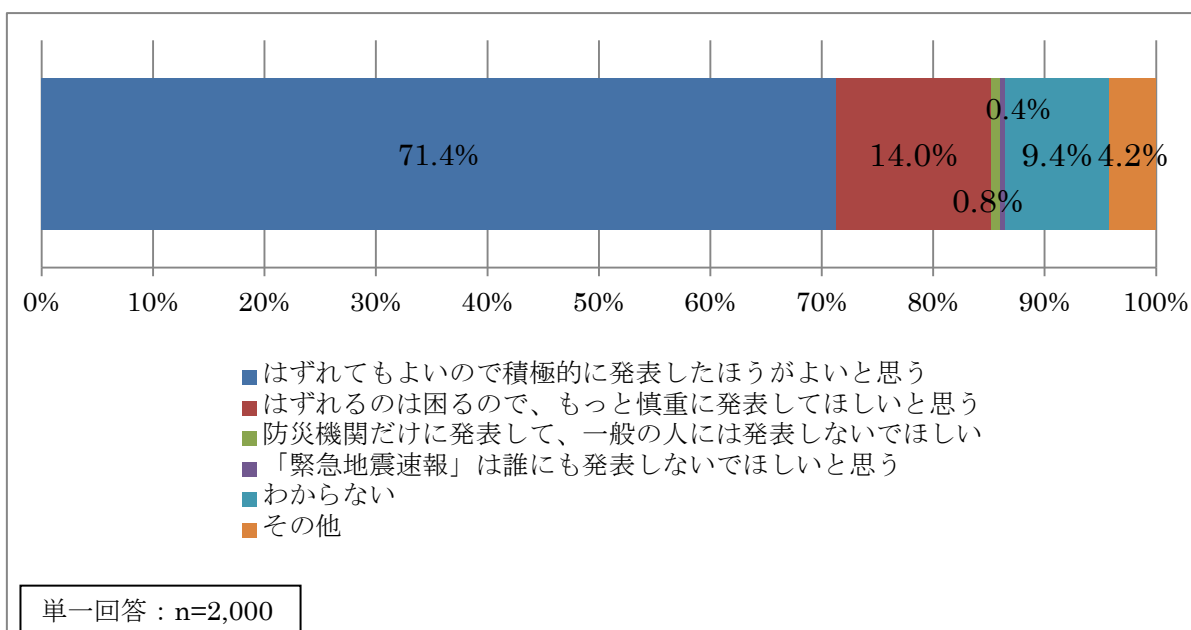
#### Q 1 4 「緊急地震速報」がどの程度役に立つと思うか



今回の経験を受けての緊急地震速報の有効性について聞きました。

緊急地震速報が役に立つと思う人が79.8%（非常に役に立つ28.1%、ある程度役に立つ51.7%）、全く役に立たないと思う人は3.5%となっています。

#### Q 1 5 「緊急地震速報」についてどう思うか



今後の緊急地震速報の発表のあり方について聞きました。

今後の発表については、「はずれてもよいので積極的に発表したほうがよいと思う」人が71.4%という結果となっています。